

Day1 A部門競技ルール

選手はステージ上で自ら選択した音楽を使い、2分以内のフリースタイル(自由演技)を行い技術・表現力をアピールする。

ヨーヨーはプレイスタイルに応じ以下の5部門に区別される。

選手の演技は各部門、選任された審査員によって審査される。

【1A部門】

- ・1つのロングスリープヨーヨーを使用する演技(ワンハンド・ストリングプレイ)

【2A部門】

- ・2つのルーピングヨーヨーを使用する演技(ツーハンド・ルーピングプレイ)

【3A部門】

- ・2つのロングスリープヨーヨーを使用するツーハンドストリングプレイ

【4A部門】

- ・糸とヨーヨーが離れるオフストリングプレイ

【5A部門】

- ・糸を指につけず代わりに重り(ダイス等)を使用するカウンターウエイトプレイ

★審査内容

【各部門の審査方法】

- ・技術点(TEA)50点
- ・技術評価点(TEB)30点
 - ソフィスティケート(SPT)
 - ノベルティ(NVT)
 - コンプリーション(CPT)

- ・表現点(PEA)20点
 - ミュージックニード(MIC)
 - ステージユース(STU)
 - ボディコントロール(BCL)
 - エンジョイメント(ENJ)

・「減点・追加減点」は無し。

・各ジャッジの加点クリッカー素点数を公開する。ジャッジ保護のため名前は非公開。

審査の内訳

「技術点50点 技術評価点30点 表現点20点 減点・追加減点無し」

各評価項目の説明

★ソフィスティケート / Sophisticated (SPT) 10点

→洗練度、クオリティ

- ・一つ一つのトリックは見やすいように洗練されているか。
- ・トリックのクオリティは高いものだったか。

★ノベルティ / Novelty (NVT) 10点

→新規性、斬新さ。

- ・フリースタイル中に行われたトリックに新規性や斬新さはあったか。

・観客があつと驚くようなトリックをフリースタイル中に行っていたか。

★コンプリーション / Completion (CPT) 10点

→フリースタイルの実行度。完成度。

- ・フリースタイルが予定通りに実行できているか。
- ・1つ1つのトリックが危うげなく実行されているか。
- ・トリックミス、コントロールミスを行っていないか。

★ミュージックニード / Music Need (MIC) 5点

→音楽の必要性、振付

- ・音楽の雰囲気とトリックの雰囲気があっていたか。
- ・トリックと音楽のテンポがあっていたか。
- ・音楽を意識したフリースタイルになっているか。
- ・その曲への愛を感じるものだったか。

★ステージユース / Stage Use (STU) 5点

→ステージ活用

- ・一か所にとどまらず、ステージを広く効果的に使い演技を行っているか。

★ボディコントロール / Body Control (BCL) 5点

→ステージ上での動き、所作の綺麗さ。

- ・ステージだということを意識していたか。
- ・堂々としていたか。
- ・演技中の姿勢に意識を感じられたか
- ・トリックの動きに対して体の動きが不自然になっていなかったか。

★エンジョイメント / Enjoyment (ENJ) 5点

→自身が楽しめていたか、観客への意識

- ・フリースタイルを楽しめていたか。
- ・観客を意識したフリースタイルだったか。
- ・ステージ上で不愉快な顔や態度をとっていないか。

★使用楽曲

- ・Fワードによる縛りはありませんが、注意が必要です。※失格対象を参照
- ・楽曲の提出は参加部門ごとに事前にCDにてお願いします。
(2部門出場される場合は2つのデータが必要になります。)
- ・提出された楽曲データのトラック1番のみ1回又は演技の規定時間上限まで再生します。
- ・楽曲の提出は参加部門ごとにCD-R1枚でお願いします。
(2部門出場される場合は2枚必要になります。)
- ・CD-Rへの書き込みはオーディオ形式で、1枚のCD-Rに使用する1曲のみを入れてください。
(mp3で書き込んだものは再生されません)
- ・提出されたCD-Rのトラック1番のみ1回又は演技の規定時間上限まで再生します。
- ・提出するCD-Rには、参加部門と選手名(カタカナ)を必ずサインペンで記入してください。
- ・CDの返却は選手からの要望がなければ行いません。責任をもって破棄します。
- ・音響トラブルに備え、予備のCD-Rやイヤホン端子が差し込めるmp3プレイヤーを用意されることをお勧めいたします。

★失格対象

- ・ジャッジ席を超えてヨーヨーが危険な速さで飛散した場合(パーツ含む)

また、下記に該当する選手がいた場合、ジャッジは協議により該当選手を失格とすることができる。

- ・危険行為と公共性に反する行為。
- ・曲の大半がFワードで構成されていたり、
あまりにも性的な表現が含まれているといった場合